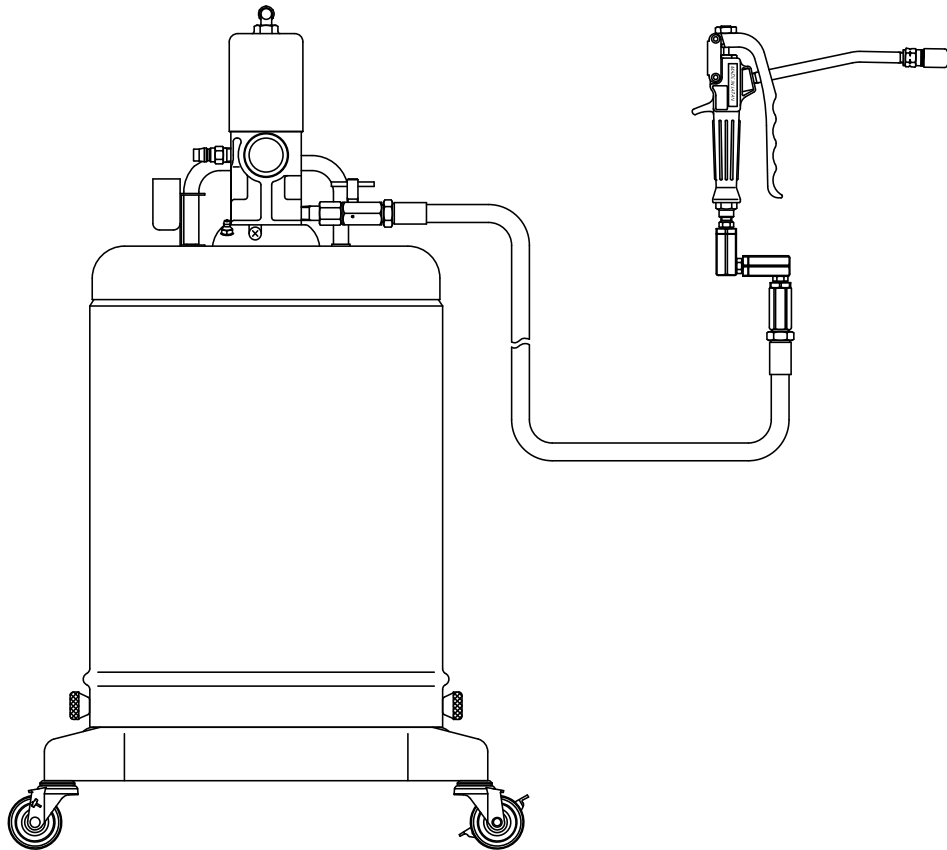


取扱説明書

グリーススルブリケーター
SKR-55 ITEM No.880870



警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

- はじめに

本製品は、機械・車両などのグリース給脂に不可欠な可搬タイプのルブリケーターです。オイル類の給油には使用できません。ご使用になれるグリースは、通常の使用状況下ではNLGI NO.0 程度までのグリースです。また、極寒、低温の状況下での使用、またはNLGI NO.1 以上のグリースを使用した場合には、吐出量が著しく低下いたします。

- 安全にお使いいただくために

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。尚、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

- 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行なう方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲のある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容を良くご理解いただくようによくお読みください。



警告

： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意

： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、及び物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。





















この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告

-  - ポンプの排気口及び吐出口に顔を近付けないでください。エアに含まれるドレンや漏れ出た材料が噴出する恐れがあります。もしそれが目に入った場合、失明する可能性があります。
-  - ブリーダーバルブを操作する際は、吐出口に顔や手を近付けないでください。ポンプ内で蓄圧されたエア混じりの材料が噴出する恐れがあります。失明や手を負傷する可能性があります。
-  - 本製品の吐出部を人に向けないでください。ポンプを運転していないときでも、圧力が残っている場合があります。もしそれが目に入った場合、失明する可能性があります。
-  - ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。取扱いによっては引火・爆発の危険があります。
-  - ポンプを改造すると、人身事故や故障を生じる恐れがあります。危険ですので、絶対に改造しないでください。
-  - 作業中、保守要員の方は、本製品の操作、または保守を行う前に取扱説明書をよく読んで、完全に理解できるまでは作業を行わないでください。
-  - 本製品の設置、操作及び分解作業を行なう際は、適切な保護具（フェイスマスク、耳栓及び安全靴など）を着用してください。
-  - 作業中及び作業終了後は、本製品が不意に移動しないように、必ずキャスターのストッパーをロックしてください。また、傾斜地など不安定な場所での使用または放置をしないでください。キャスターをロックしなかった場合、本製品が勝手に移動することで物損事故や施設汚染などが発生する恐れがあります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。
-  - 可燃性雰囲気での使用または可燃性材料を移送の際は、必ずアースしてください。材料を高速で移送する場合は、静電気の発生が予想されます。また、可燃性雰囲気になることが予想される場合は、換気を徹底してください。
-  - 日常点検を必ず実施してください。
-  - 製品仕様に従って使用してください。
-  - ポンプのエア供給配管にはバルブ（緊急停止用）やレギュレーターなどを設け、ポンプへの供給エア圧力が0.7 MPaを超えないように調整して使用してください。
-  - ペール缶交換などでキャビネットを持上げた際に、落とさないように注意してください。落としたキャビネットを受けとめようとしたときに、キャビネットのエッジ部により手などを負傷してしまう恐れがあります。
-  - ペール缶からポンプを抜く際は、供給エアを切ってポンプが作動しない状態にしてください。ショベル（ポンプ最下部）に手を挟まされると、ケガやポンプ故障の原因となる恐れがあります。
-  - 作業中に危険や異常を感じたときは作業を中止し、「4.1 故障の点検とその対策」の項を参照して対応してください。
-  - 材料がなくなるとポンプが空運転状態になり振動が激しくなりますので、直ちに停止させてください。ポンプの寿命を著しく低下させ、周辺機器にも悪影響を及ぼす恐れがあります。
-  - ガンは落とさないように注意して取扱ってください。破損による漏洩や誤作動を起こす恐れがあります。
-  - 分解を伴う点検作業をするときは、必ずエアを切りポンプを停止させ、配管内及びポンプ内の残圧（エア・材料共）を開放してください。エアを入れたまま分解作業を行うと材料が噴出するなどの恐れがあります。

 **警告**

- 取扱う材料は地面などに直接排出しないでください。有害物質などの処分は材料メーカーの取扱注意事項（SDS など）や適用される法規に従ってください。また、本製品を廃棄する場合も、本製品内に残った材料を除去したうえで、法規に従って処分してください。（公認の産業廃棄物処理業者にお問い合わせください。）

 **注意**

- 作動中の本製品には触れないでください。本製品の作動部との接触により負傷する恐れがあります。



- 仕様に合った材料に使用してください。部品の腐食やこれに伴う材料漏れにより環境汚染に繋がる恐れがあります。また、使用する材料の取扱いについては、メーカーの取扱注意事項（SDS）に従ってください。



- 防塵・防水などの対策を講じてください。塵埃や雨水などにより材料の汚染に繋がる恐れがあります。



- 本製品に接近する際は、足元に注意してください。ベース部の出っ張り（キャスター部）に足を引っ掛けてしまう恐れがあります。



- キャビネットの取付け、取外し及びペール缶の設置の際は、各部のエッジに手などを挟まないように気をつけて作業してください。また、腰を痛めないように、本製品を移動する際またはキャビネットを上げる際の姿勢にも注意してください。



- ポンプをペール缶から抜き挿しする際、ポンプ内に残った材料やポンプ外面に付着した材料が垂れ落ちる恐れがあります。服などを汚す恐れがありますので、注意して作業してください。



- 高温材料を移送の場合、ポンプ外面やホースなども高温になっている恐れがあります。ヤケドの恐れがありますので、これらに触れないように注意してください。



- ガンの操作において、レバーとガン本体の間に指を挟まないように注意してください。指を負傷する恐れがあります。



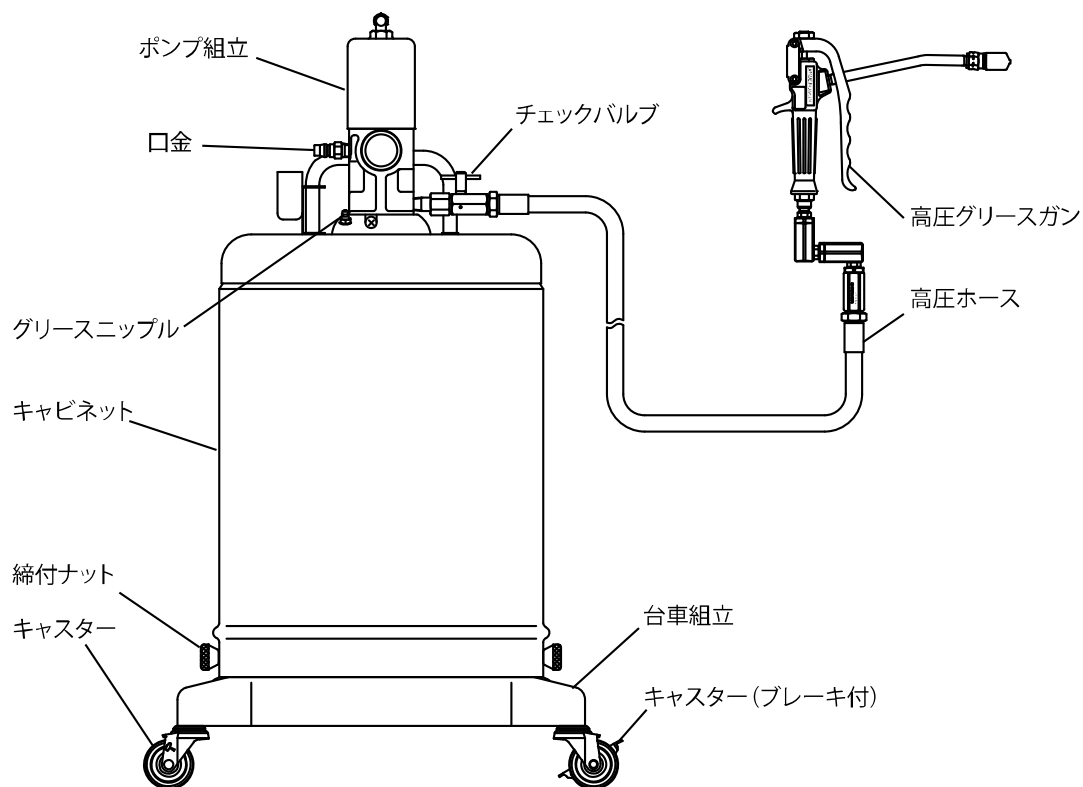
- 作業終了後、または夜間・休日など長時間使用しない場合には、必ずエア供給源を止めてください。また、吐出口バルブを開いてポンプ・ホース内の圧力を抜いてください。ホースの損傷やバルブの漏れにより施設を汚染させる可能性があります。このような二次災害に関しては使用者側の責任となります。

目次

- はじめに	
- 安全にお使いいただくために	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 各部の名称.....	1
1.2 梱包内容.....	1
2. 使用前の準備	2
3. 使用方法	3
4. 保守・点検	
4.1 故障の点検とその対策.....	4
4.2 保守・点検.....	4
4.3 分解・組立.....	4
5. 部品分解図・パーツリスト	
5.1 880870 SKR-55.....	6
5.2 852498 ポンプ組立.....	6
5.3 852164 高圧グリースガン.....	7
6. 仕様	8
7. 製品保証登録シート	9
8. 保証規定	10

1. 各部の名称

1.1 各部の名称



1.2 梱包内容

本製品は、段ボールケースに主機器と付属品が個別に梱包されています。

開梱後、直ちに輸送中の損傷がないか及び付属品の欠品がないか確認してください。

また、締結部及び配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増締めを行ってください。

2. 使用前の準備

⚠ 注意



- 配管の接続を行う際には、オネジ部にシール材(またはシールテープ)を塗布し緩まないよう確実に締込んでください。
シール材が配管内に入らないように注意してください。
(ただし、ホースユニオンに接続する場合は塗布しません。)
配管接続後、各部の漏れがないか、確認してください。

- 1) キャビネットとポンプ組立を組付けてください。組付方法は、はじめにポンプ組立下部のゴムキャップを取外し、ポンプをキャビネットにセットし、なべ小ネジで固定してください。段ボールケース上面に表示されている<装置の組立>を参照してください。(Fig. 1)
- 2) キャビネット下部の2個の締付ナットを緩め(反時計方向に回す)、キャビネットを台車から取外します。(Fig. 2)
- 3) 台車中央部にペール缶を置き、キャビネットを元通りに台車に取付け、締付ナットで左右均等に締付けてください。
- 4) ポンプ吐出口に、付属の高圧ホース、高圧グリースガンに接続してください。
- 5) 口金をポンプに接続しますとポンプはしばらく作動し、ポンプ・ホース内にグリースが充満して止まります。
- 6) 最初のグリースにはポンプ内のエアが混じり、良い状態ではありません。次の操作を行って完全な状態にしてください。
まずチェックバルブを開き、チェックバルブ下の小さな穴からグリースが吐出するまでポンプを作動させ、完全なグリースが吐出されましたら、チェックバルブを閉じてください。(Fig. 3)
この際、グリースが手に触れないよう紙を敷き、吐出したグリースを処理してください。

<NOTE>

- ・エアの混入したグリースは白く濁っています。

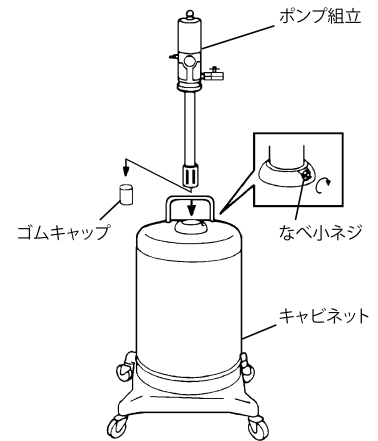


Fig. 1

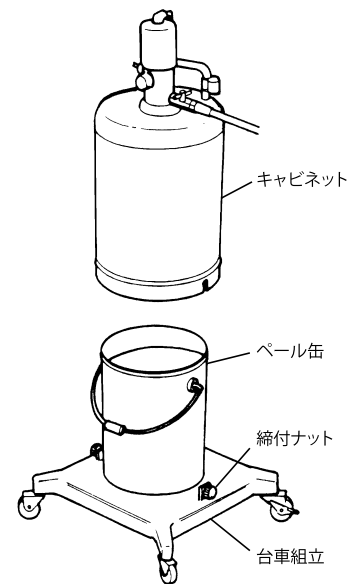


Fig. 2

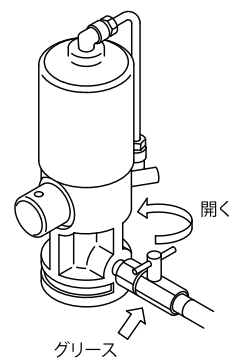





Fig. 3


3. 使用方法




注意

- 

- 使用中、吐出口を人前に向けてガンレバーを操作することは、絶対に行わないでください。グリースは高压で吐出されます。人体に直接当たりますと皮膚をキズつけたりする事故を起こす場合があります。
- 

- 本製品の最高使用エア圧は 0.7 MPa です。これ以上の圧力での使用は破損などによる、人身事故・物的損害事故を招くことがあります。絶対に 0.7 MPa 以上に設定しないでください。元圧が 0.7 MPa 以上ある場合は、必ずレギュレーター（別売）を使用し、指示通りの圧力に調整してください。
- 

- 作業中及び移動を完了した機器は、必ずキャスターブレーキをロックさせて動かないようにしてください。(Fig. 4)
- 

- 作業終了後、または夜間・休日など長時間使用しない場合は、必ず本製品への供給エアを切り、吐出口バルブを開き、ポンプ・ホース内の圧力を抜いてください。エアを切らなかったことによるホースの損傷、バルブなどのリークによって施設などを汚染させるなどの二次災害については、使用者側の責任になります。

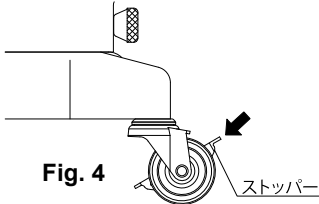


Fig. 4 ストップバー

- 1) 給脂しようとするグリースニップルをきれいに拭いてから、グリースガンの hidroチャックをニップルに押当て、なるべく垂直になるようにセットしてください。hidroチャックの爪がニップルの頭部に噛付きます。(Fig. 5)
- 2) ガンレバーを引きますとグリースは吐出され、ポンプも自動的に作動し、グリースが給脂されます。グリースが正常に注入されていますと、ニップル付近の溝、または隙間から古いグリースが押し出されます。新しいグリースが出てくるまで続けてください。
- 3) 給脂が終わりましたらガンレバーを離してください。ポンプは自動的に止まります。
- 4) グリースガンの hidroチャックを外してください。圧力がかかっていますので、いきなり引っ張りますとニップルの頭部を折る恐れがあります。hidroチャックを斜めに傾け、内圧を抜き、爪の噛付きを緩めると、簡単に外すことができます。(Fig. 6)
- 5) 給脂作業終了後は必ず供給エアを切り、ポンプ・ホース内の圧力を抜いておいてください。(Fig. 7)
- 6) ポンプが急に激しく作動し始めた場合はペール缶のグリースがないか、またはエアポケットが生じていることが考えられますので、給脂作業を中止し点検してください。ペール缶のグリースがなくなった場合は、新しいペール缶と交換してください。

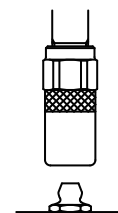


Fig. 5

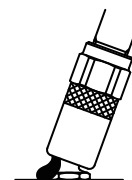


Fig. 6

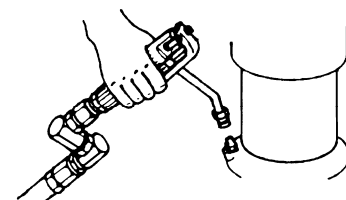


Fig. 7

4. 保守・点検

4.1 故障の点検とその対策

状 況	原 因	点検内容及び対策
ポンプが作動しない	供給エア圧は正常か ↓ (吐出側ホースを外して、ポンプを作動させてみる) → 作動すればホース出口バルブのつまり → 作動しなければポンプの故障	0.3~0.7 MPaの間で供給エアの調整 サービスを依頼してください。
ポンプは作動するが グリースが出ない	ペール缶にグリースが入っているか サクシオンチューブ回りに空洞が生じていないか 下ポンプの故障	グリースの補充 中央部にグリースをかき寄せる サービスを依頼してください。
グリースは出るが流量が少ない	供給エア圧が低下していないか 下ポンプの故障	供給エア圧のチェック サービスを依頼してください。
(出口バルブを閉じても) ポンプは動き放しで止まらない	吐出側のホース、接続部に漏れはないか ペール缶のグリースが空になっていないか 下ポンプの故障	ホース、接続部の点検 グリースの補充・交換 サービスを依頼してください。

4.2 保守・点検

■注油

ポンプのルブリケーションのため、10日に一回程度、潤滑油の注入を行ってください。潤滑油の注入は以下のように行います。

- レギュレーターを取外します。
- エア供給口に Fig. 8 のように潤滑油を数滴(約 0.5 mL)注入します。
潤滑油はタービン油 ISO(VG-32)、または相当品をご使用ください。

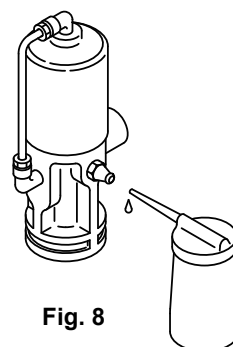


Fig. 8

■点検

- ホースは消耗品です。定期的に点検し、キズ・漏れなどがある場合は早めに交換してください。
- ポンプのパッキン摺動部の部品は、摩耗します。1年に1回点検・交換が必要です。

4.3 分解・組立

⚠ 警告	
⊘	- ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。取扱いによっては引火・爆発の危険があります。
⊘	- 部品を洗浄の際、アルミ、銅合金、鉄などを腐食するような液体は使用しないでください。
!	- 本製品の分解・点検は必ず供給エアを止めて、ガンまたは出口バルブを開き、本製品内の圧力を開放してから行ってください。
!	- 使用するグリースの種類によっては、発ガン物質が含まれているものがあります。グリースメーカーの取扱注意事項を熟読し、注意して取扱ってください。

※ ポンプの作動が不良・停止の状態になった場合は、不用意にポンプを分解せず「4.1 故障の点検とその対策」の項を参照して、その状況をよく判断し必要以外の部分まで分解しないでください。

※ フートバルブ部にゴミが詰まった場合には、次の方法で分解・洗浄し、点検を行ってください。

※ フートバルブ以外の部分、エアモーター部の分解は、お買い上げの販売店、または裏面記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

【フートバルブの分解】

- 1) ポンプに供給しているエアを切り、ポンプ内の圧力を抜いて、ポンプから口金と高圧ホースを取外してください。
- 2) ポンプを固定している本体受けのなべ小ネジをねじ戻して、ポンプを上引抜いてください。(Fig. 9)
- 3) ポンプの本体部をバイス(万力台)に固定し、バルブアダプターにスパナを掛けてパイプレンチでチューブをねじ戻し外してください。
- 4) プレートを押めている割ピンを抜き、ナットをねじ戻しますと、プレートが取外せます。(Fig.10)
- 5) バルブアダプターにスパナを掛けねじ戻し外しますと、バルブシート・フートバルブ・遊動子を取り出すことができます。
- 6) 取出すのが困難な場合は、サクシオンチューブのローレット部にパイプレンチを掛けて、サクシオンチューブをねじ戻し外してください。
- 7) サクシオンチューブを少し引き離しますと、エアモーターとロッドを接続しているユニオンが出てきますので、ピンを抜き、ねじ戻し外してください。(Fig.11)
- 8) エアモーター部と下ポンプ部が分離され、サクシオンチューブ内部よりバルブシート・フートバルブ・遊動子を取り出すことができます。(Fig.12)
- 9) 各部品を洗浄・点検し、キズ・摩耗などがある場合は、新品と交換してください。特に、バルブアダプターのフィルターの目詰まりに注意してください。
- 10) 組立は、分解時の逆の順序で行ってください。このとき、フートバルブ・バルブシートの向きに注意して点検してください。

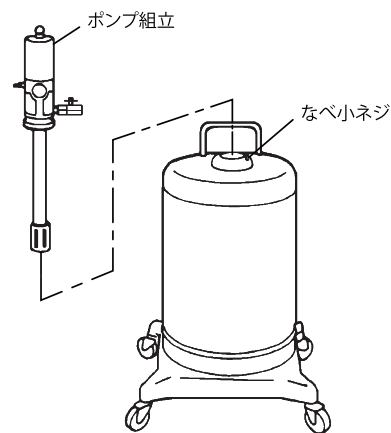


Fig. 9

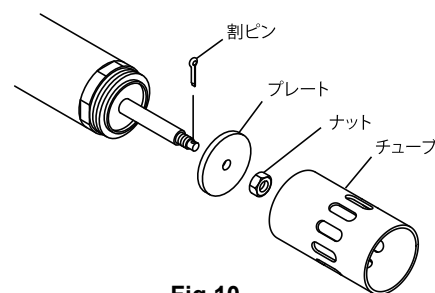


Fig.10

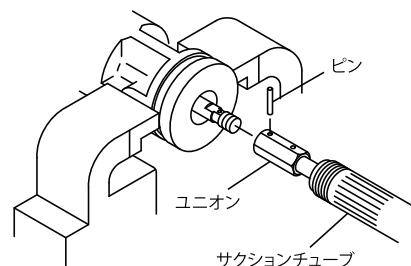


Fig.11

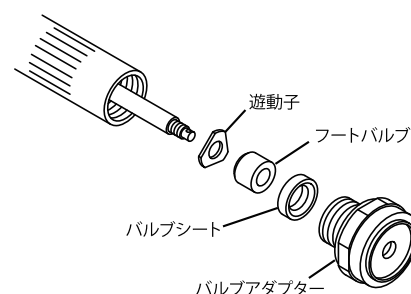
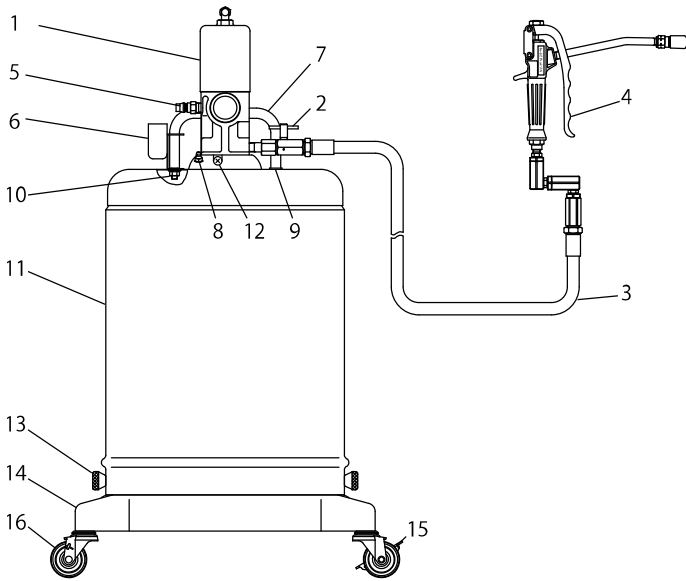


Fig.12

5. 部品分解図・パーツリスト

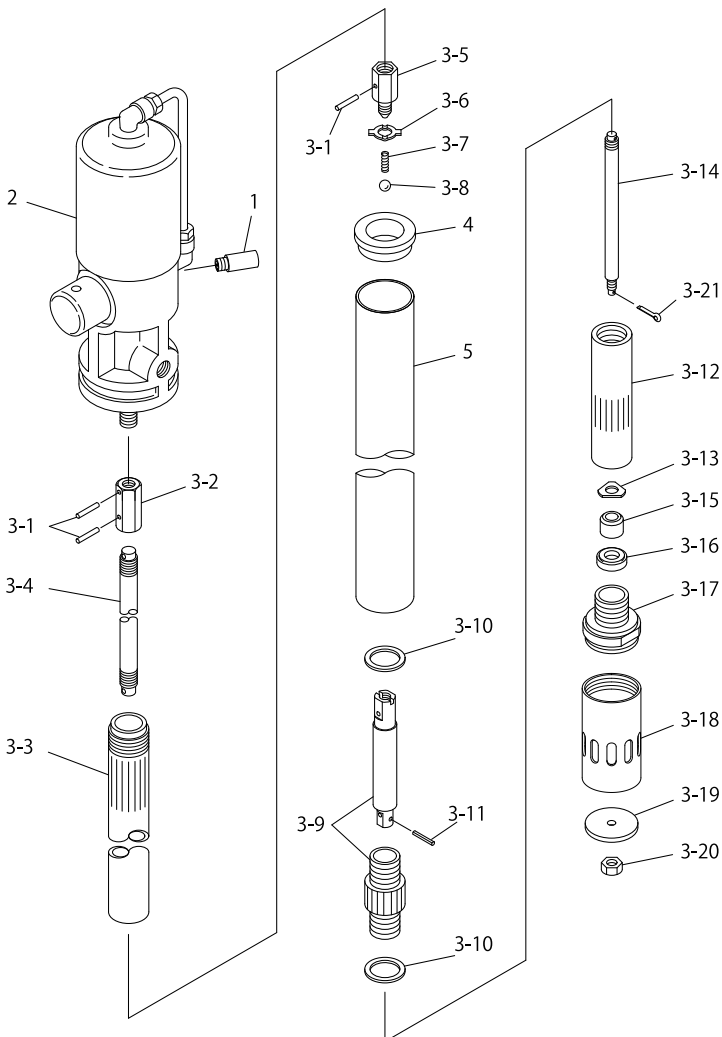
5.1 880870 SKR-55



■ パーツリスト

NO.	部品番号	部品名称	員数
1	852498	ポンプ組立	1
2	800766	バルブキット	1
3	695034	高圧ホース	1
4	851985	高圧グリースガン	1
5	680743	口金	1
6	830138	ガンホルダー	1
7	705841	取っ手	1
8	685245	グリースニップル	1
9	631013	平座金	2
10	682276	ナット	2
11	706076	キャビネット	1
12	602296	なべ小ネジ	1
13	704570	締付ナット	2
14	831098	台車組立	1
15	681767	キャスター(ブレーキ付)	2
16	680136	キャスター	2

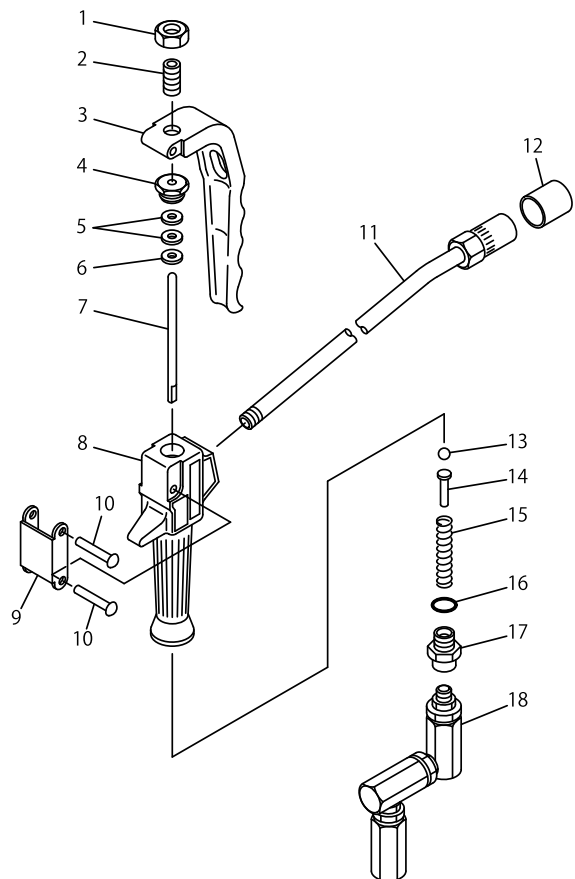
5.2 852498 ポンプ組立



■ パーツリスト

NO.	部品番号	部品名称	員数
1	681170	サイレンサー	1
2	802630	エアモーター	1
3	803358	下ポンプ組立	—
3-1	702971	ピン	3
3-2	706091	ユニオン	1
3-3	702985	サクシオンチューブ	1
3-4	702986	ロッド	1
3-5	702975	ユニオン	1
3-6	702974	止め座金	1
3-7	702976	スプリング	1
3-8	630313	ボール	1
3-9	803355	シリンダー組立	1
3-10	702977	座金	2
3-11	632754	スプリングピン	1
3-12	706072	フットチューブ	1
3-13	702980	遊動子	1
3-14	706399	プランジャーロッド	1
3-15	771404	フットバルブ	1
3-16	702982	バルブシート	1
3-17	830407	バルブアダプター組立	1
3-18	702983	チューブ	1
3-19	702984	プレート	1
3-20	627010	ナット	1
3-21	632019	割ピン	1
4	770409	パッキン	1
5	711650	アウトチューブ	1

5.3 851985 高圧グリースガン



■ パーツリスト

NO.	部品番号	部品名称	員数
1	627641	ナット	1
2	711750	ボルト	1
3	711354	レバー	1
4	711444	止めナット	1
5	772160	パッキン	2
6	713638	パッキン押さえ	1
7	711357	ロッド	1
8	711352	ガン本体	1
9	711351	リンク	1
10	683201	リベット	2
11	804911	注油ノズル	1
12	685728	キャップ	1
13	630314	ボール	1
14	711445	スプリング受け	1
15	711446	スプリング	1
16	640011	Oリング	1
17	710971	ユニオン	1
18	802910	スイベルジョイント組立	1

★No.3, 8, 9, 10 は非分解です。

6. 仕様

■仕様

型式	SKR-55	
製品番号	880870	
ポンプレシオ(呼び)	55 × 1	
材料接続	吐出口	高圧グリースガン
エア接続	供給口	口金 PS-20PM
使用エア圧力範囲	0.2~0.7 MPa	
作動音	騒音レベル *1	86 dB
	音響パワーレベル *2	96 dB
使用環境温度範囲	気温	0 ~ 60 °C
	材料温度	0 ~ 80 °C
質量	13.5 kg	
付属品	851985 高圧グリースガン……1 680743 口金………1 695034 高圧耐油ホース………1	

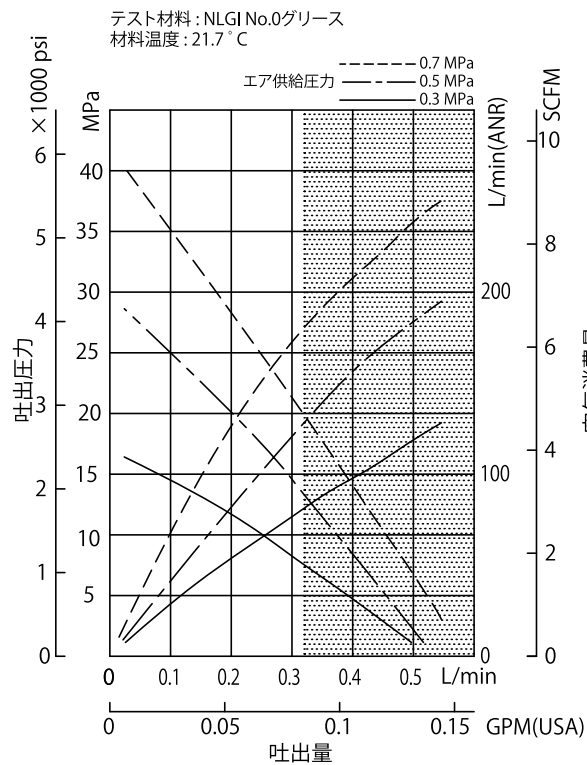
*1 測定方法は ISO 1996 に準じる。

*2 測定方法は ISO 3744 に準じる。

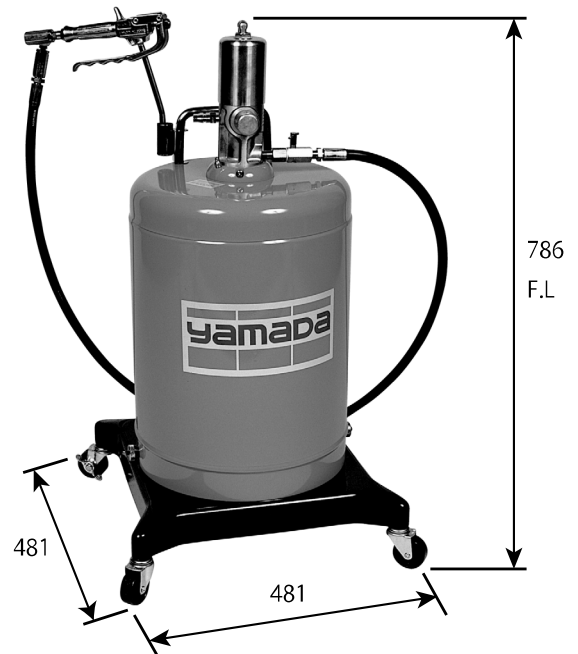
■パフォーマンスカーブ (ポンプ単体)

<NOTE>

- ・ご希望の吐出量が右側の影の部分に入るとなれば、ポンプの連続運転はおすすめできません。



■外観寸法



7. 製品保証登録シート

- ・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____		フリガナ ご担当者名 _____																												
郵便番号 _____		ご所属 _____																												
フリガナ ご住所 _____ _____		ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ Eメールアドレス _____																												
<p>■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。</p> <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報は当社の個人情報方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL.03-3777-4101
FAX.03-3777-3328

8. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障及び損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (9) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適切な油脂を使用した場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込1丁目1番3号

ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>

E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所

仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055

202101.2522 900412